

〈令和 8 年 10 月 13 日（火曜日） vol. 460〉

~~~~~ トピックス ~~~~~

#### ☆ 燃料油や石油製品等の供給に関する相談窓口の設置について

政府においては、燃料油や石油製品等の供給について、備蓄放出や燃料油の激変緩和措置を含めて、万全の体制をとっているところですが、流通や取引の状況に影響が及ぶ場合に備えて、事業者の皆様からの情報を受け付ける相談窓口を設置しています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kikaku/260331.html>（プレスリリース）

#### ☆ 中東情勢関連対策ポータルについて

中東情勢を踏まえた農林水産分野における対応状況に関する資料を掲載しています。

[https://www.maff.go.jp/chuto\\_josei.html](https://www.maff.go.jp/chuto_josei.html)

#### ☆ 2027 年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）について

2027 年国際園芸博覧会は、気候変動等の世界的な環境変化を踏まえ、我が国が培ってきた自然との関係性の中で、自然環境が持つ多様な機能を暮らしにいかす知恵や文化について、その価値を再評価し、持続可能な社会の形成に活用するとともに、国際的な園芸文化の普及、花と緑があふれ農が身近にある豊かな暮らしの実現、多様な主体の参画等により幸福感が深まる社会を創造することを目的としています。

開催場所：旧上瀬谷通信施設の一部（横浜市）

開催期間：令和 9（2027）年 3 月 19 日～9 月 26 日

博覧会区域：約 100 ha

参加者数：1,500 万人（ICT 活用等の多様な参加形態を含む）

有料来場者数：1,000 万人以上

テーマ：幸せを創る明日の風景（Scenery of the Future for Happiness）

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/expo2027.html>

<https://expo2027yokohama.or.jp>（開催主体「2027 年国際園芸博覧協会」のウェブサイト）

○GREEN×EXPO 2027 開幕に向け飲食店と連携した「GREEN TABLE キャンペーン」を実施

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kaki/260918.html>

#### ☆ アフリカ豚熱（ASF）について

アフリカ豚熱（ASF）は、豚や野生イノシシが感染する致死率の高い家畜伝染病です。ウイルスに汚染された豚肉や豚肉加工品の給与、感染した豚やイノシシとの接触などにより感染が拡大します。特に野生イノシシでは、水場での接触が感染拡大の要因となることがあります。

有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合には養豚業に深刻な影響を及ぼします。このため、家畜伝染病予防法に基づき、発生時には速やかな届出と防疫措置が義務付けられています。

我が国ではこれまで発生は確認されていませんが、アフリカ、ロシア、アジアの一部地域では発生が確認されています。海外からの侵入を防ぐため、引き続き飼養衛生管理の徹底など、発生予防に努めることが重要です。

なお、アフリカ豚熱は豚・イノシシの病気であり、人に感染することはありません。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>

## ☆ 令和 9 年度農林水産予算概算要求について

農林水産省は、令和 9 年度農林水産予算概算要求を取りまとめ、公表しました。

「強く豊かな日本」投資枠（4,272 億円）も活用し、総額 3 兆 1,377 億円を要求しています。農林水産業の持続的な発展や食料安全保障の強化に向けた各種施策の推進を図る内容となっています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/yosan/260831.html>（プレスリリース）

○令和 9 年度農林水産予算概算要求説明動画

令和 9 年度農林水産予算概算要求に関する説明動画に加え、各動画に対応した参考資料を掲載しておりますので、是非ご活用ください。

[https://www.maff.go.jp/j/kanbo/budget/movie\\_r9yokyu.html#syouan](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/budget/movie_r9yokyu.html#syouan)

## ☆ 飲食料品消費税率の臨時的な引下げについて

令和 9 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日までの 2 年間、飲食料品に係る消費税率が 1%（国・地方合計）に引き下げられます。農林水産省としても、関係省庁と連携し、農林漁業者、食品事業者、外食事業者の実情を確認しつつ、予算編成過程において支援内容を具体化してまいります。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/tyosei/syouhizei.html>

## ☆ 米穀等取扱事業の届出について

このたび、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成 6 年法律第 113 号、以下「食糧法」）の一部が改正され、米の流通実態把握の強化のため、特定規模以上の米穀等取扱事業（出荷又は販売の事業、加工等事業）を行おうとする者は、新たに届出（食糧法第 9 条）が必要となります。

また、これまでの米穀の出荷又は販売の事業の届出（食糧法第 47 条）についても、届出事項が追加となるため、改めて届出が必要となります。（令和 8 年 10 月 1 日受付開始）

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/nousan/kokumotu/kome\\_todokede.html](https://www.maff.go.jp/j/nousan/kokumotu/kome_todokede.html)

[https://www.maff.go.jp/kinki/syokuryo/syohiryutsu/syukka\\_hanbai/index.html](https://www.maff.go.jp/kinki/syokuryo/syohiryutsu/syukka_hanbai/index.html)

---

## 《 新着情報 》

### ◇ 作物統計調査 令和 8 年産水稻の作付面積及び 9 月 25 日現在の予想収穫量（近畿）について

農林水産省近畿農政局は、令和 8 年産水稻の作付面積及び 9 月 25 日現在の予想収穫量について、近畿地域の結果を取りまとめ、公表しました。近畿の令和 8 年産主食用米の予想収穫量は、生産者が使用するふるい目幅ベースで 47 万 3,700 トン（前年産比▲200 トン）、ふるい目幅 1.70mm ベースで 49 万 1,600 トン（前年産比▲1,100 トン）となる見込みです。なお、10a 当たり収量は、生産者が使用するふるい目幅ベースで 500kg となる見込みです。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/toukei/toukeikikaku/261013.html>（プレスリリース）

### ◇ 令和 8 年産の水田における作付状況について

農林水産省は、令和 8 年産の水田における作付状況（9 月 15 日時点）を公表しました。主食用米の作付面積は 136.0 万 ha で、近年で最も高い作付水準であった令和 7 年産並み（前年差▲0.7 万 ha）となりました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s\\_taisaku/261013.html](https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s_taisaku/261013.html)（プレスリリース）

◇ 令和 8 年産米等の地域農業再生協議会別の作付状況について

近畿農政局は、管内の令和 8 年 9 月 15 日時点における水田の作付状況について、地域農業再生協議会別に取りまとめ、公表します。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/sinko/261013.html> (プレスリリース)

◇ 令和 8 年度（第 65 回）農林水産祭天皇杯等の選賞について

令和 8 年度（第 65 回）農林水産祭の天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞の受賞者が決定しました。各賞は、農林水産大臣賞受賞者 442 点の中から選ばれたもので、農産、園芸、畜産、林産、水産、多角化経営、むらづくりの各部門で優れた功績を挙げた農林水産業者等が表彰されます。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/bunsyo/261013.html> (プレスリリース)

◇ 令和 8 年度豊かなむらづくり全国表彰事業（近畿ブロック）受賞団体の決定について

「今郷棚田集落協定」（滋賀県甲賀市）と「毛原の棚田ワンダービレッジプロジェクト」（京都府福知山市）が、令和 8 年度豊かなむらづくり全国表彰事業（近畿ブロック）で農林水産大臣賞を受賞しました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/261013.html> (プレスリリース)

◇ 米粉フェス 2026 開催について

11 月 28 日（土曜日）、大阪ガスハグミュージアムで「米粉フェス 2026 ～食べて知って楽しむ、米粉の世界～」が開催されます。米粉料理教室（事前申込制）や、近畿各地の米粉商品が集まるフードブースを実施します。

近畿農政局は、近畿米粉食品普及推進協議会等と連携し、米粉の利用促進に取り組んでいます。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/sinko/261008.html> (プレスリリース)

◇ 千葉県における野生イノシシの豚熱感染事例について

10 月 10 日（土曜日）、千葉県鴨川市において、野生イノシシが豚熱に感染した事例が県内で初めて確認されました。

本病のウイルスが現場及び周辺地域にも存在する可能性があり、人や車両を介して本病のまん延を引き起こすおそれがあるため、対応に万全を期してまいります。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/261011.html> (プレスリリース)

◇ 群馬県における豚熱の患畜確認（国内 107 例目）について

10 月 9 日（金曜日）に群馬県渋川市の養豚農場（約 1,900 頭）、関連農場：群馬県渋川市（1 農場、約 900 頭）において家畜伝染病である豚熱の患畜が確認されました。農林水産省では「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を開催し、今後の対応方針について確認、必要な防疫措置等に万全を期しています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/261010.html> (プレスリリース)

◇ 愛媛県における豚熱の患畜確認（国内 106 例目）について

10月6日（火曜日）に愛媛県大洲市の養豚農場（約4,000頭）において家畜伝染病である豚熱の患畜が確認されました。農林水産省では「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を開催し、今後の対応方針について確認、必要な防疫措置等に万全を期しています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/261007.html>（プレスリリース）

#### ◇「令和8年度病害虫発生予報第8号」の発表について

農林水産省は、「令和8年度病害虫発生予報第8号」を発表しましたのでお知らせします。なお、この情報は全国の情報を取りまとめたものですので、滋賀県内の情報については、滋賀県病害虫防除所から発出される情報をご覧ください。

○ 滋賀県 病害虫発生予報10号について（9月29日）

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/261007.html>（プレスリリース）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/yosatsu/yosatsuzyouhou/yohou/336942.html>（滋賀県病害虫防除所）

#### ◇ 令和8年度全国優良経営体表彰受賞者の発表について

農林水産省及び全国担い手育成総合支援協議会は、農業経営の改善や技術革新、地域農業の活性化などに優れた功績を挙げた農業者を表彰する「全国優良経営体表彰」の令和8年度受賞者を決定しました。

農林水産大臣賞9経営体、経営局長賞11経営体、全国担い手育成総合支援協議会会長賞18経営体の、計38経営体が受賞します。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/keiei/261007.html>（プレスリリース）

#### ◇ 令和7年度農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況について

農林水産省は、農薬の安全かつ適正な使用を推進するため、農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況を調査し、再発防止の指導を行っています。この度、令和7年度の結果を取りまとめましたのでお知らせします。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/261006.html>（プレスリリース）

#### ◇ 特定農林水産物等の名称の保護に関する法律に基づく措置命令について

農林水産省は、株式会社福丸フーズによる地理的表示（GI）「越前がに」の不正表示を確認しました。

このため、同社に対し、特定農林水産物等の名称の保護に関する法律（平成26年法律第84号。）第5条の規定に基づき、地理的表示の除去・抹消のほか、原因の究明・分析、再発防止策の実施等を命じました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu\\_kokusai/chizai/261006\\_1.html](https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/261006_1.html)（プレスリリース）

#### ◇ 「オーガニックビレッジ取組事例集」の公表について

農林水産省では、有機農業の生産から消費までを地域ぐるみで進める「オーガニックビレッジ」の創出を推進しています。令和12年（2030年）までに200市町村の創出を目標としており、現在、全国168市町村に取組が広がっています。

このたび、令和7年度から新たに取組を開始した22市町村の事例を追加し、「オーガニックビレッジ取組事例集」を更新しました。

各地域の先進的な取組を紹介していますので、地域での有機農業の取組や産地づくりの参考として、ぜひご覧ください。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyō/261006.html>（プレスリリース）

- ◇ **イオン東北株式会社におけるそうざい（えび天ぷら）の不適正表示に対する措置について**  
農林水産省東北農政局は、イオン東北株式会社が販売した「えび天ぷら」について、原料原産地がベトナム産又はインド産であるにもかかわらず、インドネシア産と表示し、販売していたことを確認しました。

このため、同社に対し、食品表示法に基づき、表示の是正、原因の究明・分析、再発防止対策の実施等を指示しました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/261006\\_1.html](https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/261006_1.html)（プレスリリース）

- ◇ **株式会社パナックスにおける牛の個体識別番号の不適正表示に対する措置について**  
近畿農政局は、株式会社パナックスが、牛肉に事実と異なる個体識別番号を表示し、または個体識別番号を表示せずに販売していたことを確認しました。

このため、同社に対し、牛トレーサビリティ法に基づき、表示の是正、原因の究明・分析、再発防止対策の実施等について勧告を行いました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/261006.html>（プレスリリース）

- ◇ **特定農林水産物等の名称の保護に関する法律に基づく措置命令について**

農林水産省は、株式会社パナックスによる地理的表示（GI）「鹿児島黒牛」の不正表示を確認しました。

このため、同社に対し、特定農林水産物等の名称の保護に関する法律（平成 26 年法律第 84 号。）第 5 条の規定に基づき、不正な地理的表示の除去・抹消、原因の究明・分析、再発防止策の実施などを命じました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu\\_kokusai/chizai/261006.html](https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/261006.html)（プレスリリース）

- ◇ **令和 8 年度「堆肥・土づくり勉強会」の開催について**

近畿農政局は、国産堆肥の利用拡大を図るため、11 月 19 日（木曜日）にオンライン形式で勉強会を開催します。近畿管内における堆肥の高品質化や散布作業の効率化など、堆肥の生産・利用に関する取組事例を紹介します。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/chikusan/260930.html>（プレスリリース）

- ◇ **令和 8 年 8 月の米穀流通の動向（集荷、販売、民間在庫）の公表について**

「令和 7 年産米の産地別集荷・販売状況」、「民間在庫の推移」及び「米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向」について、米の出荷・販売業者、団体等から報告のあった内容を取りまとめました。

主な動向は以下のとおりです。

＜主な動向＞（カッコ内は前年同月比）

全国の集荷数量 269.9 万トン(111%)、契約数量 262.8 万トン（106%）、  
販売数量 187.5 万トン(90%)、民間在庫数量 150.0 万トン(179%)

滋賀の集荷数量 4.84 万トン(105%)、契約数量 4.77 万トン(104%)、  
販売数量 3.41 万トン(80%)、民間在庫数量 3.23 万トン(256%)

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260930.html>（プレスリリース）

- ◇ **野菜の生育状況及び価格見通し（令和 8 年 10 月）について**

大阪市中央卸売市場及び東京都中央卸売市場に出荷される野菜の価格見通し（令和 8 年 10 月）等について、近畿農政局及び農林水産省から公表しておりますのでお知らせします。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/engei/260930.html>（東京都中央卸売市場）

<https://www.maff.go.jp/kinki/seisan/engeitokusan/yasai/kakaku.html>

（大阪市中央卸売市場）

◇ 「食品ロス削減月間」（10月）及び「食品ロス削減の日」（10月30日）について

10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です。期間中、食品ロス削減に向けた各種取組を集中的に発信します。

また、10月29日には農林水産省で「食品産業もったいない大賞」の表彰式を、30日には栃木県那須塩原市で「食品ロス削減全国大会」を開催します。

この機会に、身近な食品ロス削減に取り組んでみませんか？

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/260929\\_1.html](https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/260929_1.html)（プレスリリース）

◇ 第14回「食品産業もったいない大賞」受賞者の決定について

株式会社じゃばらいず北山（和歌山県東牟婁郡北山村）の特産柑橘「じゃばら」を徹底活用した地域おこしが、第14回「食品産業もったいない大賞」の農林水産大臣賞を受賞しました。このほか、農林水産省大臣官房総括審議官（新事業・食品産業）賞など各賞の受賞者も決定。10月29日（木曜日）に表彰式及び受賞者による事例発表会を開催します。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/260929.html>（プレスリリース）

◇ 令和8年度畜産環境シンポジウムの開催について

令和8年10月21日（水曜日）に、畜産の臭気対策や堆肥の生産・流通事例等を紹介する「令和8年度畜産環境シンポジウム」を、会場参加とオンライン配信のハイブリッド形式で開催します。

参加を希望される方は、参加申込み方法等を御確認のうえ、お申し込みください。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c\\_sinko/260925.html](https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c_sinko/260925.html)（プレスリリース）

◇ 「近畿シン（新・深・進・親・真）農泊報告&交流会 共に学び合う1泊2日」の開催について

近畿農政局は、農泊実践者同士のネットワーク強化や先進事例・ノウハウの共有を目的とした「近畿シン農泊報告&交流会」を開催します。現地視察や体験プログラムも実施し、実践現場ならではの学びを深める機会を提供します。

日時 ・11月5日（木）13:00～17:00 ・11月6日（金）9:00～13:00

会場 ・全体会：兵庫県立淡路夢舞台国際会議場（兵庫県淡路市）

・交流会・ワークショップ：ウェルネスパーク五色（兵庫県洲本市）

対象 農泊実践者、農泊に関心のある方、行政関係者、学生等

定員 180名（先着順）

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/260910.html>（プレスリリース）

◇ 令和8年度 和食・食文化セミナーの開催及び参加者募集について

近畿農政局では、11月3日（火・祝日）に、甲南女子大学において、「お雑煮」と「お餅」をテーマとした和食・食文化セミナーを開催します。

基調講演では、お雑煮やお餅の歴史、地域ごとの特色などを学び、調理実習では実際にその魅力を体験していただきます。

和食や日本の食文化に興味のある方は、ぜひご参加ください。皆さまのご参加をお待ちしています。

募集人員 12 組（24 名）（先着順）

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/kinki/press/keiei/tiiki\\_syokuhin/260910.html](https://www.maff.go.jp/kinki/press/keiei/tiiki_syokuhin/260910.html)（プレスリリース）

◇ 農林水産省「農山漁村」経済・生活環境創生プラットフォーム第 4 回シンポジウムの開催について

農林水産省は、10 月 23 日（金）に第 4 回シンポジウムを開催します。今回は「農山漁村に広がる共創の輪 ～多様な主体がつながる協働の実践～」をテーマに、自治体や企業の実践事例を紹介するとともに、AI やスポーツ分野との連携など新たな可能性について議論します。ぜひご参加ください。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/260911.html>（プレスリリース）

◇ 消費者参加型イベントにおける食品安全に関するブース出展について

農林水産省は、消費者庁、食品安全委員会、厚生労働省及び経済産業省と連携し、東京都・大阪府・愛知県で開催されるイベントにおいて、食品安全に関する普及啓発を実施します。子育て世代やその子どもたちをはじめ、幅広い世代の皆さまを対象に、食品安全について楽しく学び、日常生活に役立てていただくことを目的として、パネル展示や展示内容を題材とした謎解き企画、関係府省庁によるミニ講座などを行います。

- ・「GOOD LIFE フェア 2026」（東京都）（9 月 25 日（金）～9 月 27 日（日））
- ・「マタニティ&ベビーフェスタ大阪 2026」（大阪府）（10 月 24 日（土）、10 月 25 日（日））
- ・「SDGs 子ども・ユースフェア」（愛知県）（11 月 7 日（土）、11 月 8 日（日））

ご家族で楽しみながら食品安全への理解を深めることができる内容となっています。ぜひご来場ください。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/seisaku/260910.html>（プレスリリース）

◇ 鳥獣被害対策やジビエ利用に係る優良な取組の募集について

農林水産省では、鳥獣被害防止や捕獲鳥獣の利活用（ジビエ等）に取り組み、地域や全国に貢献している個人・団体を募集しています。受賞者の取組は農林水産省ウェブサイト等で広く紹介されます。ぜひご応募ください。

- ・募集要件は、鳥獣被害防止やジビエ利活用などの活動を概ね 5 年以上継続している個人・団体とします
- ・農林水産大臣賞（2 点以内） ・農林水産省農村振興局長賞（6 点以内）
- ・都道府県推薦：10 月 30 日（金）必着 ・アドバイザー等推薦：11 月 13 日（金）必着

所定の応募用紙に必要事項を記入の上、都道府県の鳥獣被害対策担当部署等へ提出してください。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/260904.html>（プレスリリース）

◇ 「食育実践優良法人 2027」の申請の受付開始について

農林水産省は、企業における食育活動を評価・認定する「食育実践優良法人 2027」の申請受付を令和 8 年 8 月 17 日（月曜日）に開始しました。働く世代を対象とした「大人の食育」を推進するため、従業員の食生活改善や健康づくりに積極的に取り組む法人を広く募集し、その優良な実践事例の横展開を図ります。

申請期間：令和 8 年 8 月 17 日（月曜日）から 10 月 30 日（金曜日）まで

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/260817.html>（プレスリリース）

◇ 全国の棚田に会いに行って応援しよう！「全国棚田行脚！キャンペーン」の開催について

農林水産省では、棚田を訪れるきっかけになることを願い、全国 213 の棚田を対象としたスタンプラリーを実施します。全国の棚田を訪問し、スマートフォンの GPS 機能を利用してデジタルスタンプを集めることができます。集めたスタンプ数に応じて認定証の取得や景品への応募が可能です。たくさんのご参加をお待ちしております！

開催時期

令和 8 年 7 月 15 日（水曜日）から 11 月 30 日（月曜日）まで

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nihon/260710.html>（プレスリリース）

---

#### ◆ 農林水産省補助事業の主な公募情報

- ・令和 8 年度大豆供給円滑化推進事業の第 3 次公募の実施について

なお、公募結果は公募事業ページの下段に掲載しています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/index.html>（補助事業参加者の公募）

---

#### 【審議会・検討会等の開催情報】

- ・農林水産省「農山漁村」経済・生活環境創生プラットフォーム第 4 回シンポジウム（10 月 23 日）

- ・令和 8 年度畜産環境シンポジウム（10 月 21 日）

※ 主な会議等の開催情報としてお知らせしています。

これまでに公表された会議等の開催情報はこちらをご覧ください。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://www.maff.go.jp/j/pr/event/kaigi.release.html>（会議等の開催情報）

---

#### 《 お知らせ 》

##### ○ 農林水産省ウェブマガジン aff（あふ）10 月号の最新配信のご案内

aff（あふ）2026 年 10 月号の特集は、「みどりの食料システム戦略」です。

第 1 回の配信は、『“知る”から始める「みどりの食料システム戦略」』です。

なぜ今、“食の持続可能性”が大切なのでしょうか。

その背景と目標から私たちの食の今と未来を読み解きます。生産者と消費者をつなぐ戦略のメリットや、環境負荷低減の取り組みを星の数で「見える化」したラベルにも注目！

aff（あふ）の特集は、毎週水曜日の配信です。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

---

##### ○ 統計公表情報

- ・作物統計調査 令和 8 年産水稻の作付面積及び 9 月 25 日現在の予想収穫量（10 月 13 日）
- ・令和 8 年度 容器包装利用・製造等実態調査結果（10 月 2 日）
- ・令和 7 年度野生鳥獣資源利用実態調査結果（食肉処理業者）（9 月 30 日）
- ・作物統計調査 令和 7 年産指定野菜（秋冬野菜等）及び指定野菜に準ずる野菜の作付面積 収量及び出荷量 併載：令和 7 年産野菜（41 品目）の作付面積、収穫量及び出荷量（年間）（9 月 29 日）
- ・令和 7 年農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率（9 月 29 日）

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html#t>

---

##### ○ オンラインコミュニティ（みのりボイス）のランディングページの掲載について

みのりボイスは、農林水産省統計部が実施する水稻収穫量調査の精度向上のため、生育状況や病虫害、気象被害などの現場情報をリアルタイムで投稿・共有いただくオンラインコミュニティです。投稿された情報は統計調査の参考資料として活用されるほか、参加者同士が生育見通しや営農判断に役立つ情報を共有できる場となっています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://minori-voice.maff.go.jp/lp/> [外部リンク]

---

## 《 日常的に活用できる情報 》

予算情報    みどりの食料システム戦略    食料・農業・農村基本計画  
補助事業    MAFF アプリ    経営所得安定対策・水田活用直接支払交付金  
米政策・麦・大豆    野菜・果樹・花き    茶・薬用作物・こんにゃく  
収入保険    有機農業・環境保全型農業    農業生産工程管理（GAP）  
畜産    地域計画    就農情報・農業分野における外国人受入  
スマート農業・農業技術・農業用ドローン    農林水産物・食品の輸出  
インボイス制度    メールマガジン・ソーシャルメディア    農林水産統計  
などのリンク先はこちらからご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/20230113\\_mailmagazine.html](https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/20230113_mailmagazine.html)

---

## 《 近畿農政局滋賀県拠点からのお知らせ 》

### ◆ 近畿農政局滋賀県拠点メールマガジンをご覧の皆様へ

- ・ご意見・ご感想・ご要望などもお待ちしております。
- ・当メールマガジンの登録内容の変更（アドレス等）、配信停止連絡はこちらへ  
e-mail: [kinki\\_mailmaga\\_shiga@maff.go.jp](mailto:kinki_mailmaga_shiga@maff.go.jp)
- ・「近畿農政局滋賀県拠点メールマガジン」の新規配信登録、バックナンバーはこちら  
[https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/index\\_2012.html](https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/index_2012.html)

### ◆ 農政に関するご相談、ご質問は地方参事官ホットライン(滋賀県拠点)へ

近畿農政局滋賀県拠点では、農業者・消費者・行政・農業団体等の関係者の皆様から、農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などを地方参事官ホットラインで受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

電話：077-522-4261

[https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/hotline\\_shiga2812.html](https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/hotline_shiga2812.html)

所在地：〒520-0044 滋賀県大津市京町 3-1-1 大津びわ湖合同庁舎（6F）

近畿農政局滋賀県拠点地方参事官室

---

☆ 個人情報保護のため、農林水産省外の方へは bcc にて送信しております。